



ふくぎんのABC
第95期 営業の中間ご報告

平成17年4月1日～平成17年9月30日

ごあいさつ

皆さま方には、平素より私ども福岡銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

福岡銀行は、地元の皆さまとともに歩み、地域の繁栄とともに発展してまいりました。これからも、皆さまの「期待を超える銀行」を目指して経営にあたってまいりますので、なにとぞよろしくご高配を賜りますようお願いいたします。

さて、平成17年度中間期の営業の概況をまとめました『ふくぎんのABC』をお届けいたします。当行をより深くご理解いただくためのご参考になれば幸いです。

平成17年度中間期における当行の業績は、コア業務純益が285億円と僅かながらも4年連続で過去最高益を更新し、中間純利益も177億円と2年連続で過去最高益を更新いたしました。

今後とも、役職員一同総力を結集し努力してまいりますので、一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



頭取 谷 正明

ふくぎんの経営理念

福岡銀行は、5つの基本理念により、質の高い金融サービスの提供を通して、企業価値の持続的成長を実現します。

福岡銀行の基本理念

—“ 5C Values ”—

- | | | |
|----|--------------|-------------------------------|
| 顧客 | Customers | ...顧客を最優先する組織・人材 |
| 信頼 | Credibility | ...顧客・社会から長期にわたる信頼を築き上げる組織・人材 |
| 貢献 | Contribution | ...顧客や地域に貢献する組織・人材 |
| 挑戦 | Challenge | ...前向きなチャレンジ意欲あふれる組織・人材 |
| 変革 | Change | ...たゆまず進化する組織・人材 |

中期経営計画『新世紀プラン』

平成15年4月にスタートしました中期経営計画『新世紀プラン』（平成15年4月～平成18年3月）はいよいよ最終年度を迎え、総仕上げの年となりました。

平成17年度は『新世紀プラン』で構築した各種戦略・施策を着実に実行することで、目標の経営指標の達成を図るとともに、基本方針である「拡大均衡の維持」を具現化し、「ゆるぎなく発展する先進銀行」を目指し、さらに高いレベルの成長を追求してまいります。

目指す銀行像

ゆるぎなく発展する先進銀行

高い収益力の達成 資産内容の健全性確保 高い企業価値の実現
営業・経営管理における先進手法の追求

基本方針

拡大均衡の持続

「収益（インカム）」・「リスク」・「コスト・リソース」をバランスよく均衡させながら成長を持続

目標とする経営指標 —平成17年度（最終年度）目標—

コア業務純益	600億円
当期純利益	300億円
ROE（株主資本利益率）	8%
不良債権比率	3%

コンプライアンス（法令等遵守）経営の実践

当行は、コンプライアンスを経営の最重要課題と位置付けております。お客さまからより多くの信頼・支持を得るため、今後ともコンプライアンスの充実に努めてまいります。

17年度中間期業績ハイライト

損益の状況

平成17年度中間期におきまして、『コア業務純益285億円』『中間純利益177億円』といずれも過去最高益を計上しました。

損益状況(単体ベース)

(単位:億円)

	平成16年9月中間期	平成17年9月中間期	前年同期比
業 務 粗 利 益	629	633	+4
資 金 利 益	521	516	5
国 内 部 門	471	479	+8
国 際 部 門	50	37	13
役 務 取 引 等 利 益	100	105	+5
特 定 取 引 利 益	5	6	+1
そ の 他 業 務 利 益	3	6	+3
経 費	344	347	+3
う ち 人 件 費	162	158	4
コ ア 業 務 純 益	285	285	0
業 務 純 益	277	336	+59
経 常 利 益	234	275	+41
信 用 コ ス ト	59	11	48
中 間 純 利 益	114	177	+63

「コア業務純益」は、国際資金利益の減少を国内資金利益や役務取引利益等の増加でカバーし、僅かながら4年連続で過去最高益を更新しました。

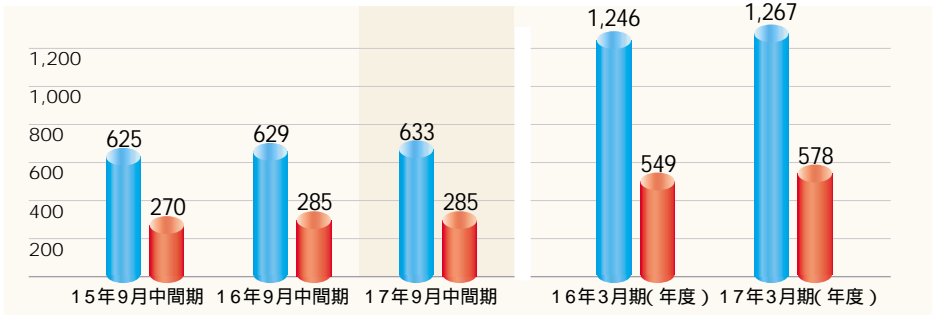
「経常利益」は、信用コストの減少を主因に、前年同期比41億円増加し275億円となり、2年連続で過去最高益を更新しました。

「信用コスト」は、企業業績の向上や再生支援の進展等を背景に、新規倒産・担保下落・格付低下等の影響が軽減したことに加え、回収・デフォルト率低下に伴う戻り益が増加したことから、前年同期比48億円減少し11億円となりました。

「中間純利益」は、経常利益の増加に加え、退職給付制度変更益(特別利益)の計上等により、前年同期比63億円増加し177億円となり、2年連続で過去最高益を更新しました。

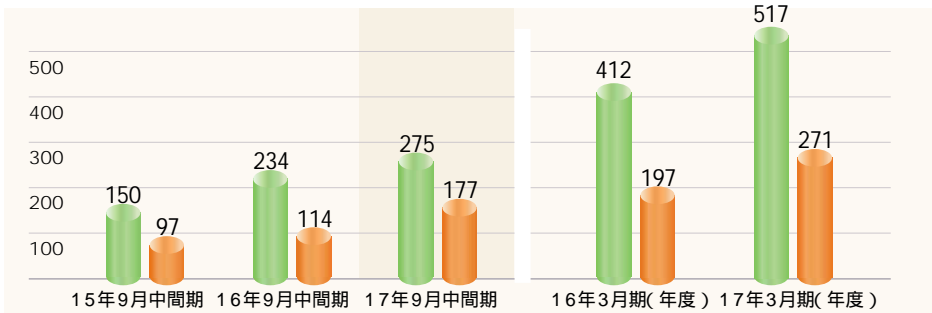
業務粗利益・コア業務純益

■ 業務粗利益 ■ コア業務純益 (単位:億円)



経常利益・中間(当期)純利益

■ 経常利益 ■ 中間(当期)純利益 (単位:億円)



参考 銀行の決算について

業務粗利益とは... 銀行本来の業務での「収益」と「費用」の差額で、経費控除前の粗利益のことです。

資金利益とは... 貸出金や有価証券の利息収入などから、預金の支払利息などを差し引いた収益のことです。

えきむ

役務取引等利益とは... 役務とはサービスのことで、主に手数料による損益のことです。

その他業務利益とは... 銀行本来の業務のうち「資金利益」「役務取引等利益」「特定取引利益(ディーリング益等)」以外の業務で得た利益のことです。

コア業務純益とは... 預貸金業務による資金利益や為替業務による手数料利益などから経費を差し引いたもので、銀行本来の業務から得られる利益を示したものです。

$$(式) \text{コア業務純益} = \text{業務粗利益} - \text{債券売買損益} - \text{経費}$$

当期(中間)純利益とは... 経常利益から税金などを差し引いた最終的な利益のことです。

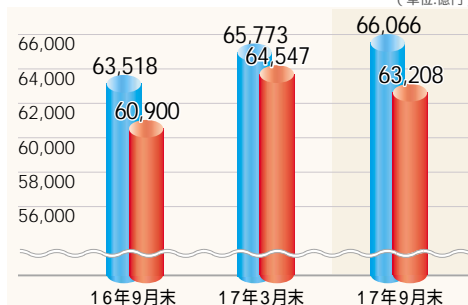
17年度中間期業績ハイライト

預金の状況

預金は、流動性預金の増加等により、期末残高は前年同期比2,308億円増加し6兆3,208億円となりました。

また、譲渡性預金を含めた総資金残高は、前年同期比2,548億円増加し6兆6,066億円となりました。

預金・総資金(期末残高) ■ 総資金残高 ■ 預金残高
(単位:億円)

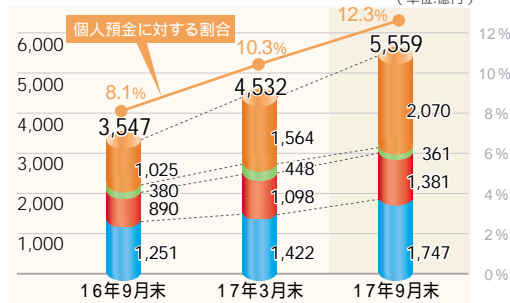


資産運用商品

お客さまの多様化する資産運用ニーズに積極的にお応えしました結果、資産運用商品は投資信託・個人年金保険・公共債を中心に順調に拡大しています。

個人預かり資産の残高は、前年同期比2,012億円増加し5,559億円となり、個人預金に対する割合も12.3%となりました。

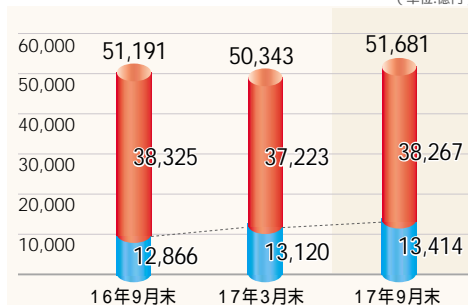
個人預かり資産残高(期末残高) ■ 投資信託 ■ 個人年金保険 ■ 外貨預金 ■ 公共債
(単位:億円)



貸出金の状況

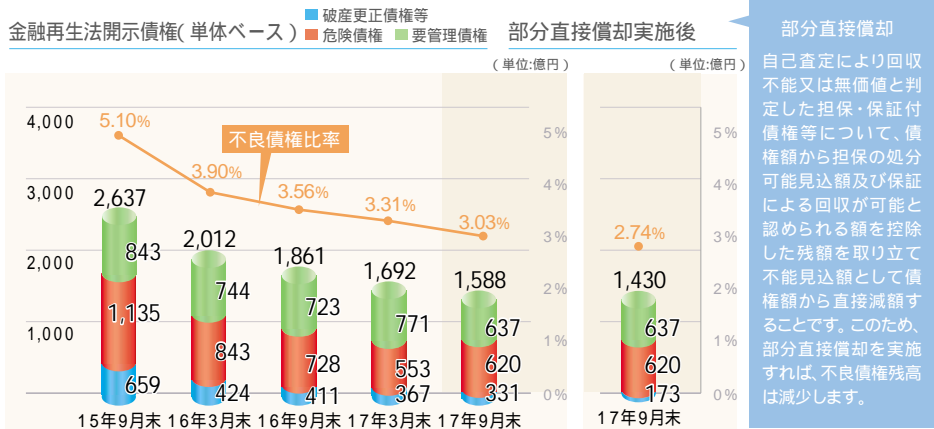
貸出金は、地元企業を中心とした新規取引の開拓や総合取引の拡大に努め、また個人のお客さまの住宅ローンをはじめとしたニーズにも積極的にお応えいたしました結果、期末残高は前年同期比490億円増加し5兆1,681億円となりました。

貸出金残高(期末残高) ■ 個人 ■ 法人
(単位:億円)



不良債権の状況

当行は、事業再生や企業の健全化支援を進めつつ、引き続き不良債権の圧縮に努めています。平成17年9月末の不良債権残高(金融再生法開示債権)は、前年同期比273億円減少し1,588億円となり、不良債権比率も前年同期比0.53%低下し3.03%となりました。また、部分直接償却を実施した場合の不良債権残高は1,430億円、不良債権比率は2.74%となります。



不良債権に対する備え

平成17年9月末の金融再生法開示債権1,588億円のうち、1,279億円は貸倒引当金および担保・保証等でカバーしており、保全率は80.5%と引き続き十分な引当・保全状況を維持しています。

不良債権の保全内訳(金融再生法開示債権、単体ベース)

(平成17年9月末)(単位: 億円)

	債権額	保全等カバー	保全率		
			引当金	担保・保証等	
破産更生債権等	331	331	204	127	100.0%
危険債権	620	565	220	345	91.1%
要管理債権	637	382	240	142	60.0%
合計	1,588	1,279	664	614	80.5%

金融再生法開示債権の定義

「債権額」...貸出金、外国為替、未収利息、支払承諾見返、貸付有価証券、仮払金等の合計額

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」...破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

「危険債権」...債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権

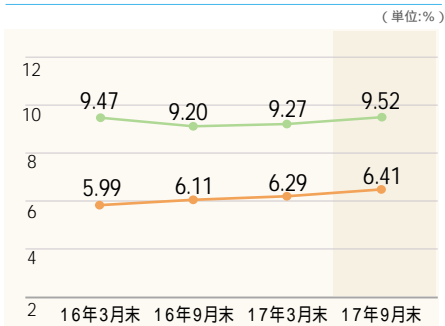
「要管理債権」...3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

17年度中間期業績ハイライト

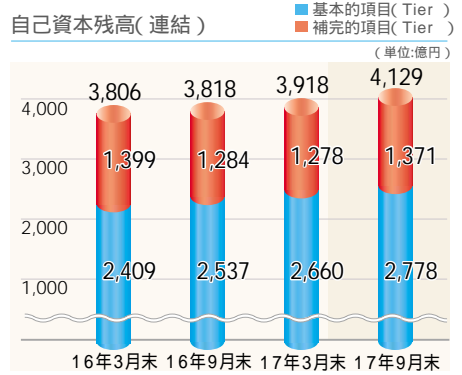
自己資本比率の状況(連結、国内基準)

平成17年9月末の自己資本は、利益の積み上げ等により、前年同期比311億円増加(Tierは241億円増加)し4,129億円となりました。連結自己資本比率は、貸出金等のリスクアセットの増加(前年同期比+1,856億円)や自己株式取得(約100億円)にもかかわらず、高水準の利益計上や劣後債発行(200億円)等により、前年同期比0.32%上昇し、9.52%となりました。また、Tier比率も前年同期比0.30%上昇し、6.41%となりました。

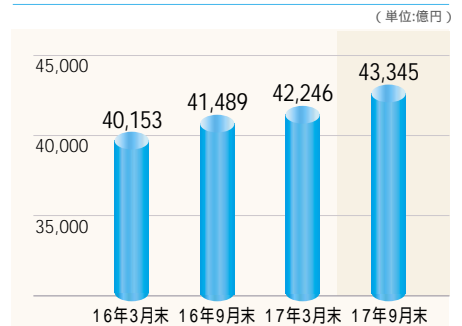
自己資本比率・Tier比率(連結)



自己資本残高(連結)



リスクアセット(連結)



自己資本比率とは...

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{資本金などの自己資本}}{\text{リスクアセット}}$$

総資産(貸出金など)に対する自己資本(資本金および過去の利益の蓄積等)の割合を示したもので、経営の安全性を示す重要な指標といわれています。

リスクアセットとは、資産の各項目にそれぞれのリスク・ウェイトを乗じて得た額の合計額のことです。

自己資本は、資本金、資本剰余金、利益剰余金などの基本的項目(Tier)と、劣後ローン、土地の含み益、一般貸倒引当金などの補完的項目(Tier)とに区分されます。

当行の格付

「格付」は、ムーディーズからは国内銀行の中では良好な「A3」を得ています。その他、日本格付研究所(JCR)からは「AA-」、格付投資情報センター(R&I)からは「A+」を取得しています。今後とも、経営体質の強化に取り組み、格付の維持・向上に努めてまいります。

ムーディーズ

種類	格付	格付の定義
長期銀行預金格付	A3	預金債務に関して、信用力が良好である銀行に対する格付け。ただし、長期的にみて信用力に影響を及ぼしうる要素があるとも考えられる。
短期銀行預金格付	P-2	預金債務に関して、信用力が高く、短期預金債務を遅滞なく履行する能力が高い銀行に対する格付け。

日本格付研究所(JCR)

種類	格付	格付の定義
長期優先債務格付	AA-	債務履行の確実性は非常に高い。

格付投資情報センター(R&I)

種類	格付	格付の定義
発行体格付	A+	信用力は高く、部分的に優れた要素がある。



財務諸表

中間貸借対照表

(平成17年9月30日現在)

科 目	金 額
資産の部	
現金預け金	280,872
コールローン	95,340
買入金銭債権	66,572
特定取引資産	4,474
有価証券	1,856,362
貸出金	5,168,083
外国為替	4,110
その他資産	53,669
動産不動産	134,319
支払承諾見返	66,630
貸倒引当金	79,654
資産の部合計	7,650,782

科 目	金 額
負債の部	
預 金	6,320,822
譲渡性預金	285,819
コールマネー	29,304
債券貸借取引受人担保金	160,456
売渡手形	194,600
特定取引負債	1,139
借入金	55,590
外国為替	185
社 債	20,000
新株予約権付社債	41,106
その他負債	49,299
繰延税金負債	6,165
再評価に係る繰延税金負債	35,556
支払承諾	66,630
負債の部合計	7,266,677
資本の部	
資 本 金	61,821
資本剰余金	40,063
資本準備金	40,062
その他資本剰余金	1
利益剰余金	185,766
利益準備金	46,520
任意積立金	117,399
中間未処分利益	21,847
土地再評価差額金	52,045
その他有価証券評価差額金	54,766
自己株式	10,358
資本の部合計	384,104
負債及び資本の部合計	7,650,782

中間損益計算書

(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)

(単位:百万円)

(単位:百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	81,762
資金運用収益	62,540
(うち貸出金利息)	(45,914)
(うち有価証券利息配当金)	(15,861)
役務取引等収益	15,245
特定取引収益	624
その他業務収益	1,119
その他経常収益	2,232
経 常 費 用	54,269
資金調達費用	10,933
(うち預金利息)	(1,516)
役務取引等費用	4,787
その他業務費用	467
営 業 経 費	36,076
その他経常費用	2,005
経 常 利 益	27,493
特 別 利 益	2,532
動産不動産処分益	0
その他の特別利益	2,532
特 別 損 失	568
動産不動産処分損	490
減 損 損 失	77
その他の特別損失	0
税引前中間純利益	29,457
法人税、住民税及び事業税	124
法人税等調整額	11,604
中 間 純 利 益	17,728
前期繰越利益	3,488
合併による未処分利益受入額	301
土地再評価差額金取崩額	328
中 間 未 処 分 利 益	21,847

中間連結貸借対照表

(平成17年9月30日現在)

科 目	金 額
資産の部	
現金預け金	280,874
コールローン及び買入手形	95,340
買入金銭債権	66,572
特定取引資産	4,474
有価証券	1,856,914
貸出金	5,168,453
外国為替	4,110
その他資産	59,356
動産不動産	134,736
繰延税金資産	3,234
支払承諾見返	66,630
貸倒引当金	88,660
資産の部合計	7,652,037

科 目	金 額
負債の部	
預金	6,316,908
譲渡性預金	274,719
コールマネー及び売渡手形	223,904
債券貸借取引受入担保金	160,456
特定取引負債	1,139
借入金	55,790
外国為替	185
社債	20,000
新株予約権付社債	41,106
その他負債	62,074
退職給付引当金	385
繰延税金負債	6,166
再評価に係る繰延税金負債	35,556
連結調整勘定	103
支払承諾	66,630
負債の部合計	7,265,128
少数株主持分	
少数株主持分	959
資本の部	
資本金	61,821
資本剰余金	40,063
利益剰余金	187,832
土地再評価差額金	52,045
その他有価証券評価差額金	54,806
自己株式	10,619
資本の部合計	385,949
負債、少数株主持分及び資本の部	7,652,037

(単位:百万円)

中間連結損益計算書

(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)

科 目	金 額
経常収益	84,644
資金運用収益	62,869
(うち貸出金利息)	(46,020)
(うち有価証券利息配当金)	(16,085)
役員取引等収益	15,094
特定取引収益	624
その他業務収益	3,641
その他経常収益	2,414
経常費用	56,688
資金調達費用	10,934
(うち預金利息)	(1,516)
役員取引等費用	4,025
その他業務費用	472
営業経費	37,632
その他経常費用	3,622
経常利益	27,956
特別利益	2,532
動産不動産処分益	0
償却債権取立益	0
その他の特別利益	2,532
特別損失	592
動産不動産処分損	499
減損損失	92
その他の特別損失	0
税金等調整前中間純利益	29,895
法人税、住民税及び事業税	645
法人税等調整額	11,317
少数株主損失	191
中間純利益	18,124

(単位:百万円)

中間連結剰余金計算書

(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額
資本剰余金の部	
資本剰余金期首残高	37,008
資本剰余金増加高	3,054
新株予約権の行使	3,054
自己株式処分差益	0
資本剰余金減少高	-
資本剰余金中間期末残高	40,063
利益剰余金の部	
利益剰余金期首残高	172,662
利益剰余金増加高	18,453
中間純利益	18,124
土地再評価差額金取崩額	328
利益剰余金減少高	3,283
配当金	2,847
役員賞与	40
連結子会社の合併	396
利益剰余金中間期末残高	187,832

ふくぎんの地域貢献活動

ふくぎんは、地域の発展に貢献するため、「地域の繁栄なくして当行の発展はない」との考え方にに基づき、地域との共生を目指しております。預金、貸出金などの本来業務に加え、地域の教育・文化活動などを通して地域社会への貢献に努めております。

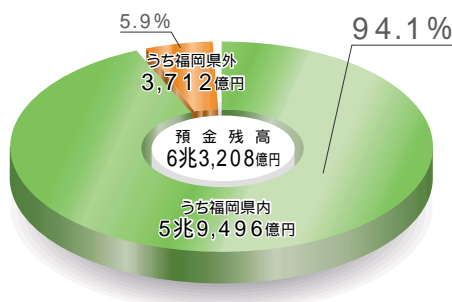
本来業務を通じての地域貢献

ふくぎんは、地域の企業や個人事業主の皆さまの事業の安定と発展に必要な運転資金や設備資金など、様々な資金需要に積極的にお応えしております。また、福岡県内を中心とした店舗網・ATM網など、各営業チャネルの充実により、地域のお客さまの「利便性向上」に努めております。

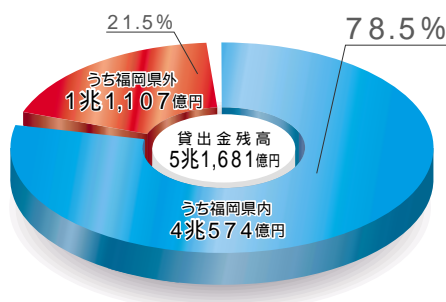
地域密着の金融機関として

ふくぎんは、預金残高6兆3,208億円のうち、9割以上の5兆9,496億円を県内のお客さまからお預かりしております。また、福岡県内貸出金残高は、総貸出金残高5兆1,681億円の約8割を占め、4兆574億円となっております。

預金残高(全体・県内)



貸出金残高(全体・県内)

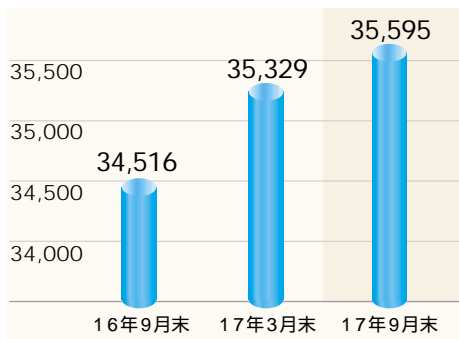


中小企業・個人事業主のお客さまへ

ふくぎんは、中小企業・個人事業主の皆さまの事業資金ニーズにスピーディかつタイムリーにお応えするため、福岡・北九州・久留米に「法人ビジネスセンター」を設置しております。無担保商品「ベストリリーフ」、元気フクオカ資金や九州北部税理士会との提携商品など、中小企業・個人事業主のお客さま向けの商品をお取り扱いしており、多くのお客さまにご利用いただきました結果、中小企業等貸出残高は前年同期比1,079億円増加し3兆5,595億円となりました。

中小企業等貸出残高

(単位:億円)



地域企業の皆さまへの経営サポート

ふくぎんは、お取引先の不動産活用・経営合理化・事業承継・相続対策・税務対策など様々なコンサルティングニーズにお応えてまいります。

経営相談室

経営相談室では、企業財務や法律、税務についてご相談を承っています。また、福銀経営セミナーの開催、実務講座の開催、お取引先企業の新入社員研修なども行っております。

経営相談室の各種サービス

お問い合わせ・お申し込みはお取引店を通じてお願いいたします。

専門家によるご相談

税理士
による
税務相談

弁護士
による
法律相談

自己啓発・社員研修等のお手伝い

経営
セミナーの
開催

実務講座の
開催

通信講座の
ご紹介

新入社員
研修会の
開催

ふくぎん経営者クラブ

「ふくぎん経営者クラブ」では、経営講演会・実務セミナーの開催やビジネス交流会の実施、ホームページからの「経営情報提供サービス」等、最新の経営情報や業種を越えた情報交換の場をお客さまに提供し、地域の経済活性化のお手伝いを行います。



ふくぎん経営者クラブ講演会

財団法人九州・山口地域企業育成基金

地域の中小企業の支援を目的として昭和60年に設立され、中小企業の研究開発および人材育成に対する助成金の交付、資金借入れの債務保証や講演会の開催等、各種事業に取り組んでおります。



キューテック講演会

ふくぎんビジネスインフォメーション

法人ビジネスセンターでは、定期的にお客さまに対してファックスや郵送で経営に関する様々な情報をご提供しております。

ふくぎんからのお知らせ

「地域密着型金融推進計画」について

ふくぎんでは、平成17年3月29日に金融庁より公表された「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム(平成17～18年度)」に基づき「地域密着型金融推進計画」を策定しました。

ふくぎんは、地元福岡・九州を中心とした地域における中小企業金融の再生及びふくぎんの健全性確保・収益性向上に向け、平成15年8月に提出した「リレーションバンキングの機能強化計画」の各施策に積極的に取り組んでまいりました。

今後についても、新しい「地域密着型推進計画」を着実に遂行することで、引き続き地域の皆さまに良質な金融サービスを提供し、地域社会の発展に貢献してまいります。

具体的な取り組み例

(1)事業再生・中小企業金融の円滑化

創業・新事業支援機能等の強化

取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化

事業再生に向けた積極的取り組み

担保・保証に過度に依存しない融資の推進等

顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化

人材の育成

(2)経営力の強化

リスク管理態勢の充実

収益管理態勢の整備と収益力の向上

ガバナンスの強化

法令等遵守(コンプライアンス)態勢の強化

ITの戦略的活用

(3)地域の利用者の利便性向上

地域貢献等に関する情報開示

地域の利用者の満足度を重視した金融

機関経営の確立

地域再生推進のための各種施策との連携等

数値目標

「事業再生・中小企業金融の円滑化」に対して目標意識を持って推進していくため、自主的な数値目標を設定し、その実現に向けて着実な取り組みを行っていきます。

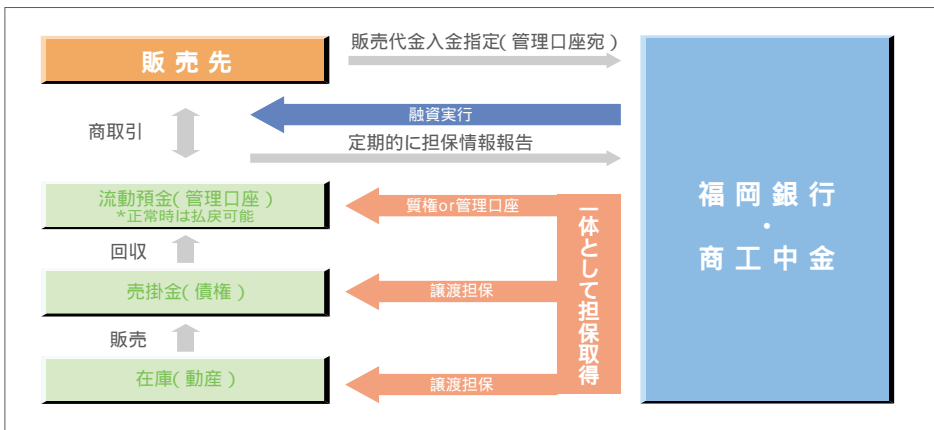
数値目標設定項目	目標値
不良債権比率	3%未満(平成19年3月末)
経営改善支援先数	300先以上(平成17～18年度累計)
うちランクアップ先数	50先以上(平成17～18年度累計)
中小企業等貸出残高	36,000億円以上(平成19年3月末)
無担保ビジネスローン等新規実行額	500億円以上(平成17～18年度累計)
新規お取引開拓先数	6,000先以上(平成17～18年度累計)

わが国初の動産登記制度を活用したシンジケートローン型アセット・ベース・レンディングへの取り組み

平成17年10月3日に、福岡銀行と商工中金は、連携してわが国初の動産登記制度を活用したシンジケートローン型アセット・ベース・レンディングに取り組まいました。

福岡銀行と商工中金の取り組むアセット・ベース・レンディングは、借入企業の事業フロー、いわば「事業のライフサイクル」を一体として把握し、かつ、原則としてこれのみを貸付の主要な引当てとするものであり、借入企業の不動産、機械設備もしくは有価証券を担保として徴求したり、または、代表者の個人の信用力に過度に依存したりすることを想定していません。その意味で福岡銀行と商工中金のアセット・ベース・レンディングは、債権譲渡担保や動産譲渡担保をいわゆる「添え担保」と捉えてきた従来型の融資実務とは、根本的な発想を異にする取り組みであり、中小企業の資金調達に大きく寄与するものです。

なお、本件は経済産業省のアセット・ベース・レンディング普及促進事業のモデル事業として認定されています。



アセット・ベース・レンディングとは

在庫が販売され売掛金となり、売掛金が回収され流動預金となる「事業のライフサイクル」に着目し、在庫・売掛金・流動預金を一体として担保取得するとともに一定の極度融資枠を設定するスキーム(流動資産一体担保型融資)です。

動産登記制度とは

不動産、指名債権の既往制度に続き、10月3日からスタートした制度です。ポイントは、動産の譲渡(主として担保差し入れ)を登記することで当該譲渡を第三者に対抗できるようになりました。動産を担保とした融資や動産の流動化による資金調達において利用されることが見込まれています。

登記の主体……法人のみ

登記の対象……個別の動産も、原材料や在庫のような集合動産も登記可能

登記の効力……民法178条の引渡しがあったものとみなされ、第三者対抗可能

登記事項の開示……概要のみであれば、何人に対しても開示。(詳細情報には制限あり)

ふくぎんからのお知らせ

キャッシュカードのセキュリティ強化への取り組みについて

ふくぎんは、全国的に偽造・盗難カードによる預金の不正引き出しによる被害が急増している中、キャッシュカード等の種々のセキュリティ強化策を実施してまいりました。今後さらにお客さまの大切な財産をお守りし、より安心してキャッシュカードをご利用していただけるよう、18年1月以降ICキャッシュカード発行等の対策を実施してまいります。

実施済

ATMで暗証番号の変更ができるよういたしました。

ATMでの「1日あたりのご利用限度額」を200万円といたしました。

ATM画面の遮光フィルターと後方確認ミラーを全店に拡大いたしました。

生年月日など類推されやすい暗証番号を不可とするシステム対応を行いました。

ATM暗証番号入力画面の数字配列のスクランブル対応を行いました。

17年度中に実施予定

ICキャッシュカードを発行し、当行ATM、全台でICキャッシュカードをご利用いただけるよう対応いたします。(18年1月に実施予定)

ATMでの1日のご利用限度額範囲内でご利用限度額を任意(1万円単位)に設定できるようにいたします。(18年2月実施予定)

生体認証を活用し本人確認を強化いたします。(18年3月に実施予定)

携帯電話を活用し、第三者によるキャッシュカード・通帳での不正引き出しを防止いたします。(18年3月に実施予定)

キャッシュカードを安全にご利用いただくための注意点

暗証番号は、生年月日、電話番号、住所の地番、自動車のナンバー、規則的な数字などを避け、他人に推測されにくいものをお使いください。推測されやすい番号は、すみやかに変更されることをお勧めいたします。

ATMをご利用の際に、暗証番号を後ろや脇から盗み見られないようご注意ください。

銀行員、銀行協会職員、警察官などが暗証番号をお尋ねすることはありません。

通帳のご記帳はできるだけ頻繁に行い、不審な取引がないかご確認ください。

ATMのご利用明細はむやみにお捨てにならないようにしてください。

ロッカー・貴重品ボックス・携帯電話など銀行のお取引以外で暗証番号を使うときは、キャッシュカードと同じ番号を使用しないでください。

キャッシュカードも通帳や印鑑と同様、大切なものですので厳重な管理をお願いいたします。長時間お手もたからお離しなられる際は十分にご注意ください。

キャッシュカードの面上に暗証番号を書いたり、暗証番号を書いたメモや暗証番号を推測させる書類等をキャッシュカードと一緒に保管あるいは携帯しないようにしてください。

預金保険制度について

平成17年4月から当座預金や利息のつかない普通預金などは「決済用預金」として全額保護され、定期預金や利息のつく普通預金などは、1金融機関につき預金者1人当たり、元本1千万円までとその利息等が保護されます。

預金保険対象商品と保護の範囲

	預金等の分類	保護の範囲
預金保険の対象商品	当座預金・決済用普通預金・別段預金	利息がつかないなどの条件を満たす預金(注2)は全額保護
	普通預金・定期預金・貯蓄預金・通知預金・定期積金・元本補てん契約のある金銭信託(ビッグなどの貸付信託を含みます)・金融債(ワイドなどの保護預り専用商品に限り)など(注1)	合算して元本1,000万円までとその利息等(注3)を保護 (1,000万円を超える部分は、破綻金融機関の財産の状況に応じて支払われます(一部カットされることがあります))
対象外商品	外貨預金・譲渡性預金・元本補てん契約のない金銭信託(ヒット、スーパーヒットなど)・金融債(保護預り専用商品以外のもの)	(破綻金融機関の財産の状況に応じて支払われず(一部カットされることがあります))

(注1)このほか、納税準備預金、掛金、預金保険の対象預金を用いた積立・財形貯蓄商品が該当します。

(注2)決済用預金といいます。「無利息・要求払い、決済サービスを提供できること」という3条件を満たすものです。

(注3)定期積金の給付補てん金、金銭信託における収益の分配のうち一定の要件を満たすもの等も利息と同様保護されます。

ふくぎんの 「決済用普通預金」

預金保険制度による「全額保護」をご希望のお客さまには、「決済用普通預金」をご用意しています。

ふくぎんの「決済用普通預金」の特徴

現在ご利用中の普通預金が「そのまま」ご利用いただけます。

- 1 預金種類、口座番号は「そのまま」なので、給与振込・年金振込のお受取りや公共料金など自動振替の変更手続きがございません。
- 2 通帳・キャッシュカードも「そのまま」ご利用いただけます。
- 3 総合口座やカードローンをセットされている場合も「そのまま」ご利用いただけます。
- 4 新たに口座を開設することもできます。
- 5 「決済用普通預金」は利息がつきません。

お問い合わせはこちらまで


 0120-788-321

携帯電話・PHSの場合092-432-6035
(受付時間:午前9時～午後5時 ただし銀行休業日は除きます。)

ふくぎんからのお知らせ

ふくぎん住宅ローンが新しくなりました!

ふくぎんでは、お客さまのニーズやライフプランに合わせて、さらにお選びやすい商品を設定いたしました。



ふくぎん
住宅ローン

ふくぎん住宅ローン 住宅ご購入や大型リフォームにご利用できます。

	キャンペーン金利
[固定金利型・当初期間優遇タイプ]	当面の返済額をできるだけ少なく抑えたい方におすすめのタイプです。
[固定金利型・全期間一律優遇タイプ]	長期的な資金計画をお考えの方におすすめのタイプです。
[全期間固定金利型]	最後まで返済金額を固定したい方はこちらをご利用ください。 <small>その他、変動金利型もございます。</small>

オール電化住宅ローン オール電化住宅(マンションを含む)の新築・購入および増改築をされるお客さまを対象に、キャンペーン金利からさらに0.1%優遇!

ホットメリット住宅ローン 「エコウィル」「エコジョーズによる床暖房または浴室乾燥機」を装備する住宅新築・購入および増改築をされるお客さまを対象に、キャンペーン金利からさらに0.1%優遇!

がん保障特約付き住宅ローン 「がん」と診断された場合、残りの住宅ローンが0円に!完治した後も住宅ローンは0円!

リフォームローン「かいぞうくん」 さまざまなりフォームにご利用いただけます。

住み替えローン 物件売却代金だけではローン完済ができない場合の住み替えをサポートいたします。

無担保借換住宅ローン 現在お借入の住宅ローンを無担保で借り換えることができます。

ダイレクトコンサルティングプラザオープン

- ローン
- 住宅ローン
- アレコレカード
- 資産運用



ち々と話せる
ふくぎんへ

8月8日(月)より!

**ふくぎん
ダイレクトコンサルティングプラザ**

ローン・住宅ローン・アレコレカードのお申込みやご相談、資産運用に関するご相談はこのお電話へ!!

0120-788-324

[受付時間]平日9:00~20:00

平成17年8月8日、個人向けに関するご相談、お申込を電話(フリーダイヤル)でお受けする来店不要の「ふくぎんダイレクトコンサルティングプラザ」を開設いたしました。

この「ふくぎんダイレクトコンサルティングプラザ」は、従来からある商品別のフリーダイヤルを一つに統合し、個人向け主力商品である「消費性ローン・カードローン」、「arecoreカード」、「住宅ローン」、「資産運用商品(投資信託、外貨預金等)」について、それぞれ専門スキルを持ったオペレータを配置し、コンサルティング機能を高めてご相談やお申込をお受付するとともに、お客さまへの商品アドバイス、セールスも積極的に行っております。

ローン・アレコレ

メニュー お申込み ご相談・お問合せ

住宅ローン

メニュー お申込み・ご相談

資産運用

メニュー 資産運用のご相談

キャッシュカード一体型クレジットカード "arecore"

キャッシュカード、クレジットカード、ローンカードの3つの機能が1つになった、ふくぎんの arecoreカードは、お客さまから大変ご好評いただき、発行枚数は既に13万枚に達しております。

アレコレひとつで、アレコレうれしい。

キャッシュカードとして + クレジットカードとして + ローンカードとして =

「引出す・預ける・振込む」 国内外でご利用OK! 急な出費にも慌てない!
のキャッシュカード機能 ICチップ搭載の次世代カード カードローン機能

arecore 1枚で、こんなにおトク!

オトクItem 1

当行ATM時間外手数料を無料にできる!

1年間無料(カード発行の翌月1日から適用されます。)
※年明け最初の10日間の適用期間あり。お申し込み後2週間以内にお取り引きOK!
結果は、arecoreカードでの過去6ヶ月のショッピング決済額が10万円以上「マイレック」でのサービス特典となります。

オトクItem 2

クレジットカード年会費を無料にできる!

1年間無料(ゴールドカード、ヤングゴールドカードは対象外となります。)
2年目以降も以下のご利用でOK!
arecoreカードでの年間ショッピングご利用額が10万円以上または携帯電話料金のクレジットカード決済

オトクItem 3

ショッピングポイントにボーナスポイントがついてくる!

マイバンクの各ステップに応じてショッピングポイントを5%～15%上乗せ!

arecoreカードの特典!

手続き簡単新型ローン『ふくぎんナイスカバー』

あっ!忘れてた。
どうしよう。
今日、必要だった。

すぐ必要、それならふくぎんに相談してみる新型ローン

ナイスカバー

- お使いみち自由
- アルバイト、パートの方も申し込みOK!
- お急ぎの方には即日振込サービス
- 手続き簡単!!

『ふくぎんナイスカバー』は、<誰でも>・<簡単に>・<スピーディーに>をコンセプトとした、新型ローン商品です。収入がある20歳以上(65歳以下)の方であれば<誰でも>、電話・インターネット・携帯電話・FAX等から<簡単に>お申し込みができ、『即日振込サービス』をご利用いただければ、当日中に<スピーディー>に預金口座へ融資金をお振込させていただきます。

ナイスカバーは、お使いみち自由。

たとえば...

- 友人との飲み会(2000円)の時間は大変、でも給料日前だし...どうしよう?
- 結婚資金が必要!!
- 引越しがしたい!!
- パソコン・テレビを買い換えたい!!
- 海外旅行に行きたい!!

今日は携帯電話の使いすぎでナンパ! パソコンやテレビを買い換えたい!! 海外旅行に行きたい!!

分割返済タイプ

お使いみちは自由です。

ご利用は10万円から最高200万円まで。

最長5年のラクラク返済。計画的にご利用が可能です。

カードローンタイプ

キャッシュカード同様に銀行のCD・ATMで現金の引き出しができます。

余裕のあるときはATMでいつでも、いくらでも返済可能です。

にあるセブン銀行のATMで、平日24時まで現金の引き出しができます。(ご利用の際は、所定の手数料が必要です)

カードローンタイプは60歳以下

ふくぎんからのお知らせ

ふくぎん事業者ローン『ベストリリーフ』のご案内

第三者保証人・新たな担保不要で、お急ぎの方の資金ニーズにお応えします!



あなたの事業資金を
しっかりサポートいたします。

**ふくぎん事業者ローン
ベストリリーフ**

事業資金が必要で中小企業・個人事業主の方への事業者ローンです。
預金お取引の方もご利用いただけます。

最長5年、最高3,000万円!

ベストリリーフに関する詳しいお問い合わせは各支店の融資窓口か
ふくぎん法人ビジネスセンター(☎0120-279-005)へお尋ねください。

商品の特長

第三者保証人不要

スピード審査

新たな担保不要

手数料不要

ふくぎんに口座をお持ちで
なくてもお申込みOKです。

法人・個人事業主の
皆様の事業資金のお悩みは
ベストリリーフが
解決します!

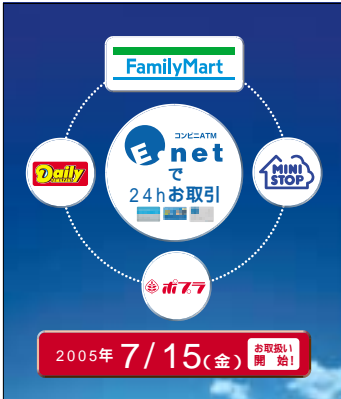
例えばこんなお悩みの方に

まとまった事業資金が必要な方
急な出費で困っている方

現金集金の予定が手形に変わり、
はやく現金化したい方

商品仕入れ資金や、諸経費の運転
資金、設備資金など

イーネット社コンビニATM取り扱い開始



「E-net」のマークがあるコンビニ(ファミリーマート、デイリーヤマザキ、ミニストップ、ポプラ等)で、ふくぎんのキャッシュカードが平日24時までお引き出しいただけます。

サービス内容

お引き出し	お預け入れ	残高照会	キャッシング
-------	-------	------	--------

コンビニATMでは「通帳によるお引き出し」は、お取り扱いできません。

他の金融機関でのお引き出し額及びデビットカードでのご利用額を合算して1日200万円までのご利用が可能です。

1回にお引き出しできる紙幣枚数は28枚までです。また、お預け入れは58枚までです。硬貨を伴うお引き出し・お預け入れは、お取り扱いできません。

振込取引、アレコレカードローン取引、キャッシング返済取引はお取り扱いできません。

通帳デザインリニューアル

ふくぎんの新デザイン通帳ラインナップ(9種)



平成17年9月12日から、通帳のデザインを全面的にリニューアルいたしました。通帳のリニューアルは昭和63年以来、17年ぶりとなります。

新通帳のデザインは、『先進性』と『親しみ』をイメージの基調とし、また、デザインにあしらわれた『大小のF』は、当行のロゴマークをもとに、『さまざまなお客さまの、さまざまなニーズにお応えする』ということを表しております。

ふくぎんでは、これを機に、更に先進的な商品やサービスの開発に努め、お客さまの多様なニーズにお応えしますとともに、より身近で親しみやすい『お客さまに選ばれる銀行』となりますよう努めてまいります。

株式情報

株式の状況(平成17年9月30日現在)

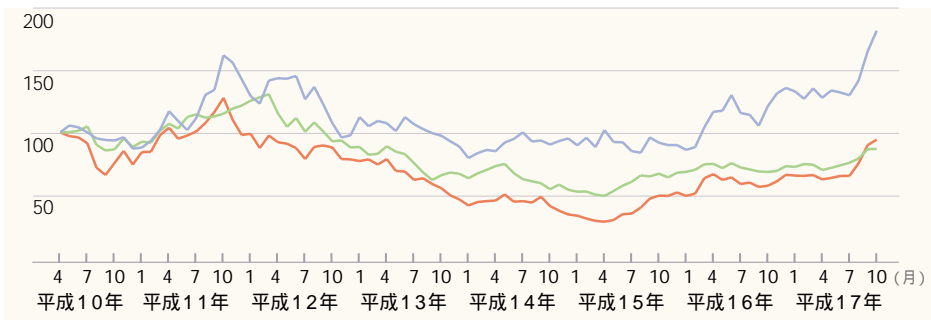
発行する株式の総数	1,800,000 千株
発行済株式の総数	648,803 千株
株主数	17,340 名

大株主 (氏名又は名称)	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	41,714	6.42
明治安田生命保険相互会社	26,419	4.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	26,330	4.05
九州電力株式会社	19,296	2.97
住友生命保険相互会社	17,137	2.64
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー	16,015	2.46
第一生命保険相互会社	15,792	2.43
日本生命保険相互会社	14,630	2.25
株式会社損害保険ジャパン	11,919	1.83
ザチエースマンハッタンバンクエスイロンド	8,208	1.26

(注) 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
割合は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
上記のほか当行所有の自己株式16,358千株(2.52%)がございます。

当行株価の状況

■ 当行株価 ■ 日経平均株価 ■ 銀行株価指数
当行株価、日経平均株価、銀行株価指数の推移(平成10年4月=100)



株式のご案内

1. 決算日
毎年3月31日
2. 定時株主総会
毎年6月に開催いたします。
3. 配当金受領株主確定日
利益配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
4. 基準日
定時株主総会 3月31日
その他必要があるときは、あらかじめご告知いたします。
5. 公告掲載新聞
日本経済新聞および福岡市で発行される西日本新聞

6. 株式事務取扱場所・取次所

名義書換代理人 日本証券代行株式会社
 同事務取扱場所 日本証券代行株式会社 福岡支店
 TEL092-741-0284

郵便物送付先
お問合せ先

〒137-8650
 東京都江東区塩浜二丁目8番18号
 日本証券代行株式会社 代理人部
 [用紙のご請求] ☎0120-707-842
 [その他のご照会] ☎0120-707-843

同取次所 日本証券代行株式会社 本支店

1 通帳やキャッシュカードや印鑑を紛失したときは？

A すぐにお取引店または当行本支店にお電話ください。盗難の場合は、警察にもお届けください。(平日の時間外や土・日・祝日は下記にお電話ください。)

喪失届受付センター

☎ 0120-100-508

月 / 6:30 ~ 8:45 17:00 ~ 24:00

火 ~ 金 / 0:00 ~ 8:45 17:00 ~ 24:00

土 / 0:00 ~ 21:00 日・祝日 / 6:30 ~ 21:00

(携帯電話からのお届けもできます。)

上記時間内でも祝日の翌日の朝0:00 ~ 6:30は受付いたしておりません。

電話でのお届けは仮のお届けです。書面での正式の届け出が必要ですので、お早めに次のものをご持参のうえ、お近くのふくぎんの窓口にお申し出ください。

通帳やキャッシュカードを紛失されたとき

お届け印



本人確認書類



印鑑を紛失されたとき

通帳



今後ご使用予定の印鑑



本人確認書類



通帳やカードの再発行には、手数料(1,050円)が必要です。通帳またはカードを発見されたときは、発見された通帳またはカードとお届け印、および本人確認書類をご持参のうえ、お近くのふくぎんの窓口にお申し出ください。この届けがないとご利用になれません。正式な届け出前に印鑑を発見されたときは、お届け印、通帳またはカードおよび本人確認書類をご持参のうえ、お近くのふくぎんの窓口にお申し出ください。この届けがないとご利用になれません。本人確認書類=運転免許証、パスポートなど、詳しくは窓口にお尋ねください。

2 住所が変わったときは？

A 次のものをご持参のうえ、お近くのふくぎんの窓口にお申し出ください。

通帳



お届け印



キャッシュカードをご利用の個人のお客さまは電話で手続きができます。ふくぎんキャッシュカードダイヤル 092-432-6162 にお電話ください。

ダイレクトバンキング会員のお客さまはテレホンバンキング(フリーダイヤル)をご利用ください。

☎ 0120-366-567 携帯からは 092-432-6032 (受付時間 / A.M.9:00 ~ P.M.8:00 但し、銀行休業日は除きます。)

個人のお客さまはメールオーダー(郵送)による手続きもできますので、ご利用ください。

なお、当座勘定、ご融資、マル優・マル財・マル特・財形預金、住宅金融公庫等のお取引をいただいているお客さまは、電話・メールオーダーでの住所変更手続きはできません。窓口のお申し出においても確認資料等が必要となる場合もありますので、お取引店にお問い合わせください。

3 届出印鑑を変更するときは？

A 次のものをご持参のうえ、お近くのふくぎんの窓口にお申し出ください。

通帳



お届け印



今後ご使用予定の印鑑



4 暗証番号を変更したいときは？

A ふくぎんのATMで、キャッシュカードまたは通帳を使って手続きができます。

通帳とお届け印をご持参のうえ、お近くのふくぎんの窓口で手続きすることもできます。

福岡銀行からの大切なお知らせ

あなたの暗証番号は大丈夫ですか？

「生年月日」「電話番号」「住所の地番」「自動車のナンバー」規則的な数字(1111、1234など。)など他人に推測されやすい番号をキャッシュカードの暗証番号にご使用することは避けてください。

暗証番号の変更は、当行のATMで簡単にお手続きできます。

暗証番号として変更可能な番号には一定の制限を設けていますので、あらかじめご了承ください。

暗証番号によるご本人確認のお願い

盗難通帳等による不正払出しを防止し、お客さまの大切なご預金を守るために、お取引金額によりましては、暗証番号のお届け出がある預金は、窓口で「暗証番号入力装置」に暗証番号を入力していただくことによりご本人確認をさせていただいております。また、上記確認に併せて、本人確認書類のご提示をお願ひすることもございます。





当行の概要

(平成17年9月30日現在)

設 立	昭和20年3月31日
資 本 金	618億円
本店所在地	福岡市中央区天神二丁目13番1号
営業店舗数	本支店158 出張所9 合計167
従 業 員 数	3,089名
主 要 勘 定	預金残高.....6兆3,208億円 貸出金残高.....5兆1,681億円 有価証券残高.....1兆8,564億円
発行済株式総数	648,803千株
連結自己資本比率(国内基準)	9.52%

